

コロナ後の人権啓発活動

末恒地区人権啓発推進協議会
会長 山本 英世



令和2年1月に国内で初めてコロナウィルスによる感染が確認されてからまる4年が過ぎましたが、ここまでコロナ禍が続くとは思いませんでした。この間、経済活動や社会生活において大きな影響があり、人権問題についても、感染に伴う新たな差別事象が起こり、人権啓発活動は感染拡大防止のためさまざまな制限がかかり、停滞もしくは後退せざるを得ない状況でした。

未だ完全にコロナ前に戻ったとは言えませんが、本地区人権啓発推進協議会では、感染法上の分類が5類に引き下げられたことを受け、可能な限り事業を推進してきました。

昨年6月には4年ぶりに県外現地研修を行いました。研修先は、岡山市人権啓発センターで、江戸時代に起きた染染め一揆について学習しました。身分による厳しい差別があった時代に、人間の尊厳をかけて平等を守り抜いた人々の生き方を学びました。

8月には「第49回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会」で本地区人推協の取組を発表しました。小地域懇談会、現地研修、講演会や当人推協の特徴でもある人権標語を始めとした末恒小学校、白兔養護学校との交流など、まち協と一体となった地区を挙げての人権啓発活動について報告しました。

3月には人権講演会(社協と共催の福祉講演会)を開催しました。「いのち輝く」と題して、八頭町光澤寺の宗本英敏住職より、少子高齢化が進む社会で、終活や墓じまいなどこれからの先祖供養や墓地、寺のありかたについて貴重な話を聞くことができました。

また、ここ3年間開催されなかった「小地域懇談会」が本年度は2つの町内で開催されましたが、依然人権問題への関心が薄く、来年度は全町内をいくつかのブロックに分けて自治会と共催の懇談会にすることも検討中です。いずれにしても私たちの日々の暮らしに関わる人権について皆さんとともに考えていきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◆令和5年度 人権啓発推進事業報告◆

たくさんのご協力ありがとうございました。

月	日	曜日	内 容	場 所
4	7	金	湖東ブロック人権啓発推進協議会初総会	湖山西地区公民館
	8	土	末恒地区人権啓発推進協議会監査会	末恒地区公民館
	22	土	末恒地区人権啓発推進協議会評議員会	末恒地区公民館
5	23	火	第1回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会	末恒地区公民館
7	19	水	小地域懇談会事前研修会	末恒地区公民館
8	4	金	湖東ブロック人権啓発研修会打合せ会	湖山地区公民館
9	9	土	湖東ブロック人権啓発研修会	湖山地区公民館
	28	木	第2回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会/人権標語選考会	末恒地区公民館
10	21	土	人権標語表彰式	末恒地区公民館
12	1	水	湖東ブロック人権啓発推進協議会会長会	湖山地区公民館
2	1	木	第3回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会	末恒地区公民館
3	2	土	人権講演会(福祉大会)	末恒地区公民館
	9	土	湖東ブロック人権啓発推進協議会推進員研修会・年度末総会	湖山地区公民館
3	31	木	じんけんだより発行	

第49回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会



今年度は事例発表の当番館にあたり、第五分科会にて実践発表を行いました。末恒の特徴として、まちづくり協議会との連携、地区内にある施設との結びつきや地域の特性を活かした活動など会長より報告がありました。

人権の取り組みについて、まだまだ課題があるかと思えます。これからも地域と連携し、手を取り合いながら考えていきたいです。



日程 令和5年8月22日(火)
場所 とりぎん文化会館 梨花ホール

人権啓発事業（現地学習）

日程 令和5年6月13日(火)
場所 岡山市人権啓発センター・渋染一揆資料館
岡山城・旧閑谷学校



令和5年6月13日岡山藩で江戸時代に起きた「渋染一揆」の歴史を学びました。岡山藩は、借銀や凶作で困窮。財政立て直しの一つに藩内の被差別部落に対し、不当なお触れを出しました。人々は、嘆願書をつくり武器なしで藩に対し立ち上がりました。「人間としての誇り」を守りぬいた歴史を高く評価されています。人権問題は、平和な世の中にする為に考えること、知ることは大切なことです。人権問題を難しく考えずにあなたの周りにいる人を大切にすることから始めてみませんか！！

湖東ブロック推進員研修会

日程 令和6年3月9日(土)
場所 湖山地区公民館
内容 性別マイノリティの人権問題

湖東ブロック推進員研修会が湖山地区公民館で行われました。性別マイノリティの人権問題について講演があり、多様性についてまずは知っていくことの大切さなど学びを深めることができました。

推進員での情報交換会では、各地区での取組や課題を話しました。どの地区でも課題は、参加者が少ない、人権と聞くと難しいと思われるなどがありました。人権とは本来、誰にでも関係のあることだと思います。そのことにみんなが気づいて、考えて知っていただければいいですね。



福祉大会（人権講演会）

演題 いのち輝く
これからの終活と墓じまいについて



地区社会福祉協議会との共催で、今年度の人権講演会は八頭町にある宿坊で有名なお寺、光澤寺のご住職宗元英敏様をお招きし、ご講演いただきました。当日は約40名の皆様にお越しいただき、聞きたくても聞きづらいこれからの終活や墓じまいについてや、多様性、いのちについてなど多くのことを教えていただきました。今ここにいるだけで幸せなんだと改めて考えることができました。

講演後のアンケートも「聞いたことのない話をたくさん聞くことができてよかった」「自分の終活への具体的なビジョンができたように思う」「人としての生き方考え方を考えさせられ非常に参考になった」など多くの感想が寄せられました。

日程 令和6年3月2日(土)
場所 末恒地区公民館
講師 宿坊 光澤寺 住職 宗元英敏様



仲間とともに育ちあう

～遊びの中で育む人権意識～

白兔保育園 園長 下根 裕子

本園では、「一人一人を大切に、地域の中で仲間とともに輝く子どもの育成」を目標に、日々の保育に取り組んでいます。安心して自分らしく過ごし、自分は大切な存在なのだと感じることができる自己肯定感を育てていくことが、子どもたちが生涯にわたって自分自身を支える力に繋がると感じます。子どもたちが自己発揮し、人との温かなふれあい体験の中で人と関わる力を育み、仲間を大切にしていけるよう、遊びの中での学びを大切にしていきたいと思えます。



絵本の読み聞かせ
～安心できる大人との関わり～

わらべうた遊び
～友だちや保育者とのふれあい体験～



小地域懇談会

美萩野
1丁目



R5 9/24 (日)

美萩野1丁目町内会館

「話せてよかった
～家庭からふりかえる人権」

R5 10/29 (日)

伏野公民館

「いわれなき
誹謗中傷との闘い」

伏野



コロナ禍でなかなか実施ができなかった小地域懇談会。今年度は、美萩野1丁目と伏野の2地区が実施しました。

「話せてよかった～家庭からふりかえる人」「いわれなき誹謗中傷との闘い」等、DVDを視聴しました。実施後のアンケートでは「市の推進員の話が聞けて良かった」「今後も毎年やるべきだ」など前向きな意見が多かったのが印象的でした。

実施地区が少ないことが今後の課題です。ひとりひとりが人権について知ること、考えることでより良い地域づくりに繋がるのではないかと思います。

白兔養護学校 作業学習



10/6 (金)

陶器のプランターづくり

白兔養護学校との協働事業として1回目は陶器のプランターづくりを、2回目はその作ったプランターに多肉植物の寄せ植えを行いました。

粘土をこねて成形するプランターづくりはなかなか難しく、生徒さんが講師として優しく教えてくださりとても助かりました。焼きあがった作品はとても素晴らしく、多肉植物がとっても映えること。生徒さんが作られた小さな陶器の動物なども飾りとして使い可愛い作品となりました。



2/16 (金)

多肉植物の
寄せ植え



令和5年度購入新刊図書(人権関連)

	図書名	著者
児童書	「あなたのすてきなところはね」 あなたが今日、ここにいる。それは、こんなにステキですごいこと！	作 玉置 永吉 絵 えがらしみちこ
	「色とりどりのぼくのつめ」 ジェンダーを考える絵本。性別にとらわれずに自分らしさを表現するペンの物語。	作 アリシア・アコスタ ルイス・アマヴィスカ
一般書	「織細さんの本」 気がつきすぎて疲れるHSP(とても敏感な人)の本。	武田 友紀
	「人に迷惑をかけない終活」 「人生の最期に後悔しない終活」をまるごと解説します。	監修 明石 久美

令和5年度 人権標語表彰者

末恒小学校の児童のみなさん

末恒小学校の児童を対象に作品を募集し、応募作の中から最優秀賞3名、優秀賞9名、佳作9名を選出。10月21日(土)の地区文化祭で表彰式を執り行いました。最優秀作品は地区内施設・店舗に張り出し、人権意識啓発の向上に努めています。

最優秀賞

低学年の部	1年	竹永 悠	ともだちに やさしくすると いいきもち
中学年の部	3年	椿 琉羽	えがおさく すえつねのまち すてきだね
高学年の部	6年	西口 優桜	だれにでも やさしく対応 いじめ0

優秀賞

低学年の部	1年	前田 紗那	ありがとう けがしたところに ばんそうこう
	2年	松本 橙士	けんかせず なかよくたのしく くらそうね
	2年	田渕 舞日	どうしたの? こまっているともだちに こえかけよう
中学年の部	3年	西村菜々心	聞く話す なやまないで そのゆう気
	4年	砂田 柚菜	大じょうぶ? その一言で うれしいな
	4年	嶋岡 蒼馬	わるぐちで きずつくところ もどらない
高学年の部	5年	倭島 蒼空	グッジョブ がんばっている人に つたえよう
	6年	小山 晴子	友達の 「心」 のい場所 つくろうよ
	6年	森川 心結	本当は きずつくかもね その言葉

佳作

低学年の部	2年	片牧 愛美	ゆずりあい みんなでなかよく みんなでえがお
	2年	田中 杏奈	え顔いっぱい ゆずりあい いっぱい
	2年	瀬戸根透生	ひとを きずつけるのは やめようね
中学年の部	3年	松岡 良	よいところ 見つけ出して 笑顔さく
	3年	矢代 葉琉	大切な 一人一人の いいところ
	4年	松本 千奈	いじめなく みんなが みんなをささえあう
高学年の部	5年	山下 暉	みんなにさ プラスのことば ひろめよう
	5年	中島 璃乃	友達を 小さな勇気が 救うんだ
	6年	杉山 咲希	ありがとう うれしい気持ち 伝わるよ

編集後記

各事業もコロナ禍以前に戻り、地域の皆様にはご理解、ご協力ありがとうございました。「小地域懇談会」も実施があり人権について考えるきっかけができたのではないかと思います。これからも人権啓発活動にご協力お願い申し上げます。